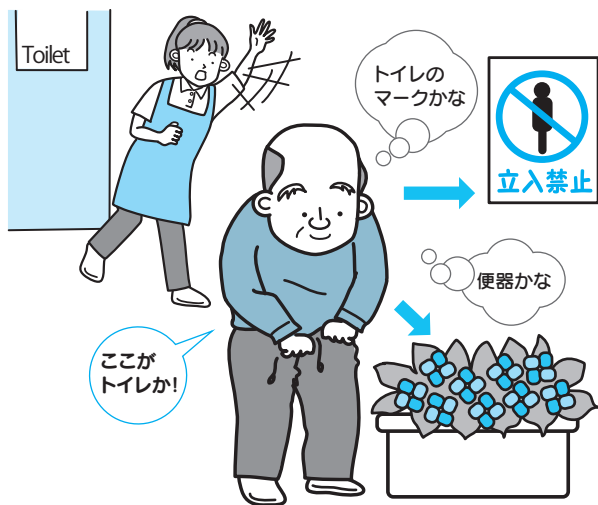


逸脱行動とは、法律や道徳、倫理といった社会的規範から外れる行動をいいます。認知症の場合、脳の機能の低下によって状況に適した行動が難しくなり、それが逸脱行動とみなされてしまうことがあります。

ポイント アルツハイマー型認知症の逸脱行動例

アルツハイマー型認知症では中期以降に、トイレ以外の場所^{はいせつ}で排泄をしてしまったり、人前で衣類を脱いでしまうなどの逸脱行動がみられることがあります。その多くは、状況の把握がより困難になることから生じます。



くわしく アルツハイマー型認知症での逸脱行動への対応

まず、逸脱行動が生じる環境や状況についてくわしく調べましょう。本人がうまく認識できなったり、間違えて認識しやすいものがあるかもしれません。

次に、こうした要因がわかったら、たとえば「ひらがなやカタカナは読める」など本人にまだある能力を使って正確に認識できるように環境や状況を整えます。

一度や二度の工夫でうまくいくことはあまりありません。うまくいかなかったことも貴重な資料としながら、粘り強く他の項目も参考に取り組んでみてください。

